

## 第2回 三原川水系河川整備計画

### 検討懇談会 議事概要

事項	第2回 三原川水系 河川整備計画 検討懇談会	参加者	別紙参照
日時	平成19年3月2日 14:00~16:00	場所	南あわじ市 中央庁舎別館会議室
内容	1. 開会 2. 開会のあいさつ 3. 事務連絡（規約の施行と委員紹介）（資料1） 4. 議事 (1) 第1回三原川水系河川整備計画検討懇談会議事録の確認（資料2-1,2-2） (2) 治水の現状と課題について（資料3） (3) 内水対策検討方針について（資料4） (4) 利水・環境の現状と課題について（資料5） 5. その他（連絡事項） 6. 閉会		
資料	資料1：三原川水系河川整備計画検討懇談会 規約 資料2-1：「第1回三原川水系河川整備計画検討懇談会」議事概要 資料2-2：「第1回三原川水系河川整備計画検討懇談会」議事録 資料3：治水の現状と課題 資料4：内水対策検討方針 資料5：利水・環境の現状と課題 資料6：今後のスケジュール		



## 1. 開会

- 「第2回 三原川水系河川整備計画検討懇談会」が開会した。
- 配布資料の確認を行った。



## 2. 開会のあいさつ

- 淡路県民局県土整備部長より開会の挨拶を行った。

## 3. 事務連絡（規約の施行と委員紹介）

- 規約・運営要綱の施行及び後任委員の紹介を行った。

凡 例  
 委) 委員意見  
 事) 事務局回答  
 傍) 傍聴者意見

## 4. 議事

### ① 第1回三原川水系河川整備計画検討懇談会議事録の確認(資料2-1, 2-2)

- 第1回三原川水系河川整備計画検討懇談会の議事概要について、事務局より説明を行った。
  - 委) 第1回目には参加していないが、三原川に関してパラペットの記述があるが大日川も同じ状況なので検討してほしい。
  - 委) 第1回委員会でも大日川に関する発言があり、詳細な議事録には記載があったと思うが、検討対象には大日川も入っているので今後検討を行う予定である。
- 第1回三原川水系河川整備計画検討懇談会の議事概要の内容について、了承された。議事概要、議事録の修正については、1週間を締め切りとし、3/9までに事務局に連絡する。事務局は、修正後の議事概要・議事録を個人名を伏せて公開する。

### ② 治水の現状と課題について(資料3)

- 治水の現状と課題について、パワーポイントにて、事務局より説明を行い、意見交換を行った。また、南あわじ市長が訪問され、本懇談会に対して挨拶があった。



- 委) 潮位の関係はどうなっているのか教えてもらいたい。
- 事) 計画上は朔望平均満潮位を条件として計算している。
- 事) 台風23号では、ピーク17時と満潮の19時がほとんど重なり、被害になったと認識している。
- 事) 計画は朔望平均満潮位で行っているが、台風23号実績潮位での確認も行いたい。
- 委) 下流部は高潮の高さで計画を実施している。
- 委) ポンプの比流量は、流域に対しての比流量か。
- 事) 内水域に対しての比流量である。
- 委) 内水区域面積がポンプ容量の増強に従って減少していたが、湛水時間はどの様になるのか。
- 事) 現在の検討は湛水容量について検討したもので、今後、洪水形態による資料での議論となる。長雨であれば結果的に湛水時間は長くなる。
- 委) 災害を受ける立場では湛水時間が大切な要因となる。想定する雨が決まれば、随時情報も出てくる。
- 委) 三原川は蛇行しており、その場所に応じた補強が必要である。川幅を拡幅する等、費用の面もあり、検討が必要である。
- 委) 河道改修計画に関しては、次回の懇談会で提示される予定である。改修については、現在の計画内で進めるか、再度、下流部より実施し直すか議論する必要がある。

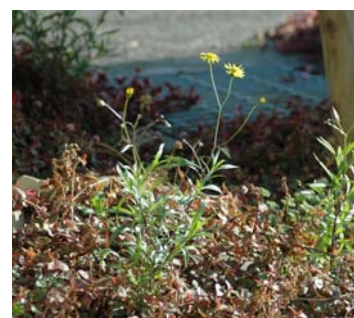
③ 内水対策検討方針について(資料4)

- 内水対策検討方針について、パワーポイントにて、事務局より説明を行った。内水対策の検討方針については、特に質問・意見はなかった。

④ 利水・環境の現状と課題について(資料5)

- 利水と環境の現状と課題について、パワーポイントにて、事務局より説明を行い、意見交換を行った。

委) ダム地域では南アフリカのマダガスカル原産の外来種のナルトサワギクが確認されており、この植物は哺乳類に対する毒をもち、海外では駆除されている。南あわじ市を中心に分布している。乾燥した地域を好むが中洲でも生育しているので裸地ができるとう侵入する可能性がある。また、土砂に種が含まれている可能性があり、河道改修での配慮が必要である。



委) 中流では、帰化植物が多いものの子供が川に入れるような箇所である。淡路島では、比較的長く、上・中・下流の特色をもつ河川であり、治水・利水とともに環境にも配慮した改修が必要である。

委) 下流にウミニナが生息しており、重要な種なのでどう維持しながら安全にするかが課題である。

⑤ 傍聴者意見

傍) 管理区分における県の担当エリアでは、ポンプに加えて排水路の整備についても県で事業化の検討をしてもらえるのか。

事) 県で可能なのは法河川の改修であり、それ以外の河川や排水路などは、南あわじ市による整備となる。

5. その他(連絡事項)

- 第3回に外水対策の目標と実施に関する事項を行い、第4回に内水対策及び利水・環境の目標と実施に関する事項を行う。
- 第3回検討懇談会の開催日は、来年度に調整する。

6. 閉会

- 「第2回 三原川水系河川整備計画検討懇談会」が閉会した。

## 別紙

## ＜委員＞

	名 前	職 名	所属及び専門	出欠
1	道奥 康治	神戸大学工学部教授	学識経験者（治水）	○
2	藤原 道郎	兵庫県立大学自然・環境科学研究所教授	〃（自然環境）	○
3	宮崎 祐三	南あわじ市立三原中学校教頭	〃（地域文化）	○
4	芝 壽浩	南あわじ市連合自治会長	住民代表	○
5	山野 均	〃 緑支部長	〃	○
6	大石 忠男	〃 西淡支部長	〃	○
7	丹羽 啓裕	〃 三原支部長	〃	○
8	奥井 光子	南あわじ市連合婦人会長	〃	○
9	宇治田 勝	内水ブロック代表（古津路地区）	〃	○
10	服部 祐治	〃（江尻地区）	〃	○
11	大住 恵康	〃（志知川地区）	〃	○
12	杉本 勝司	〃（倭文流地区）	〃	○
13	宮本 忠彦	〃（志知松本地区）	〃	○
14	済藤 孝信	南あわじ市商工会	関係団体	代理
15	倉本 満之	あわじ島農業協同組合代表理事専務	〃	○
16	平石 剛敏	湊漁業協同組合長	〃	○
17	長江 和幸	南あわじ市収入役	関係行政機関	○
			計	17名

## ＜事務局＞

	名 前	職 名	出欠
1	原田 一二三	淡路県民局県土整備部長兼洲本土木事務所長	○
2	菊地 隆章	〃 洲本土木事務所企画調整担当主幹	○
3	岩谷 晴雄	〃 河川砂防課長	○
4	北垣 隆司	〃 課長補佐	○
5	森田 伸二	県土整備部土木局河川計画課長	×
6	古高 利彦	〃 課長補佐兼係長	×
7	土肥 正克	〃 主査	○
8	糟谷 昌俊	〃 河川整備課主幹兼治水係長	×
9	石田 靖	〃 主査	○
10	西岡 正行	南あわじ市都市整備部長	○
11	吉川 満広	〃 次長	○
12	水田 泰善	〃 管理課長	○
13	野田 博	〃 建設課長	○
14	中田 明樹	〃 農業振興部長	×
	神田 一彦	〃 農業振興部農地整備課長	○

## ＜傍聴者＞

7名